

経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/		/	
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	退院日	術後3日目
目標	手術の準備を整えることができる。		疼痛がコントロールできている。 血尿の増悪がなく、尿の流出が順調である。		尿道カテーテルが抜去でき、抜去後には自尿が確認できる。		退院後の注意点を知っている。	
処置	弾性ストッキングのサイズを測定します。		手術用のネームバンドを装着します。 手術室に行く前に体温、脈拍、血圧を測ります。 義歯、指輪、ネックレス等は全てはずします。 弾性ストッキングをはきます。		適宜、体温・血圧・脈拍を測定します。 心電図モニターを装着します。 酸素吸入します。		心電図モニターをはずします。 弾性ストッキングを脱ぎます。	
点滴			点滴があります。		夕方までに点滴終了です。			
お薬	普段飲んでいる薬を確認します。お薬とお薬手帳を持参のうえ、看護師にお渡しください。手術当日の内服については確認してお伝えします。 21時に下剤を内服します。		朝、持参薬は指示されたものだけ内服します。		*手術終了直後（手術室）に尿道カテーテルから膀胱内へ抗がん剤を注入する場合があります。		抗血栓薬・抗凝固薬を服用している方は、 月 日から再開してください。	
検査					朝、採血があります。			
食事	21時以降は食事はできません。夕食のときに術前飲料水が出ます。		食事はとれません。指定の時間まで、術前飲料水を飲むことができます。 □ 午前手術 → 朝7時まで □ 午後手術 → 朝9時まで		□ 腰椎麻酔 → 3時間後から水分可 □ 全身麻酔 → 6時間後から水分可 *手術の終了時間によって、夕食が出る場合があります。		朝から食事が開始になります。 水分を十分にとりください☆	
活動安静度	制限はありません。		ベッド上で安静に過ごします。寝返りや横向きになることはできません。		朝から起き上がることができます。歩行も可能となり制限はありません。			
排泄			尿の管が入り、自然に尿が排出されます。痛い時、違和感が強い場合は、看護師を呼んでください。		尿の管は、尿量や尿の色など術後の経過によって、医師の指示のもととびます。 尿の管が抜けた後は、尿量や色などの観察のため、トイレにある袋に尿をためてください。詳細は看護師が説明します。			
清潔	シャワーに入ります。		何かあったらすぐにナースコールを押してくださいね。		温かいタオルで体を拭き着替えをします。尿の管が抜ければシャワー浴が可能です。			
説明指導	病棟を案内し、入院中の生活とスケジュールについてご説明します。同意書等の書類を確認しお預かりします。						退院後の生活指導をします。退院時の書類、診察券などお渡しし、退院の手続きについて説明します。	
その他			ご家族の方は（ ）までに病室にお越しください。ご家族の方は手術中ファミリールームで待機していただきます。PHSをお渡しします。				次回外来日は / です	

血尿がしばらく続くことがあります。水分をこまめにとるようにしてください。38度以上の高熱や血尿が強くなるなどの症状がある場合、外来にご連絡、ご相談ください。